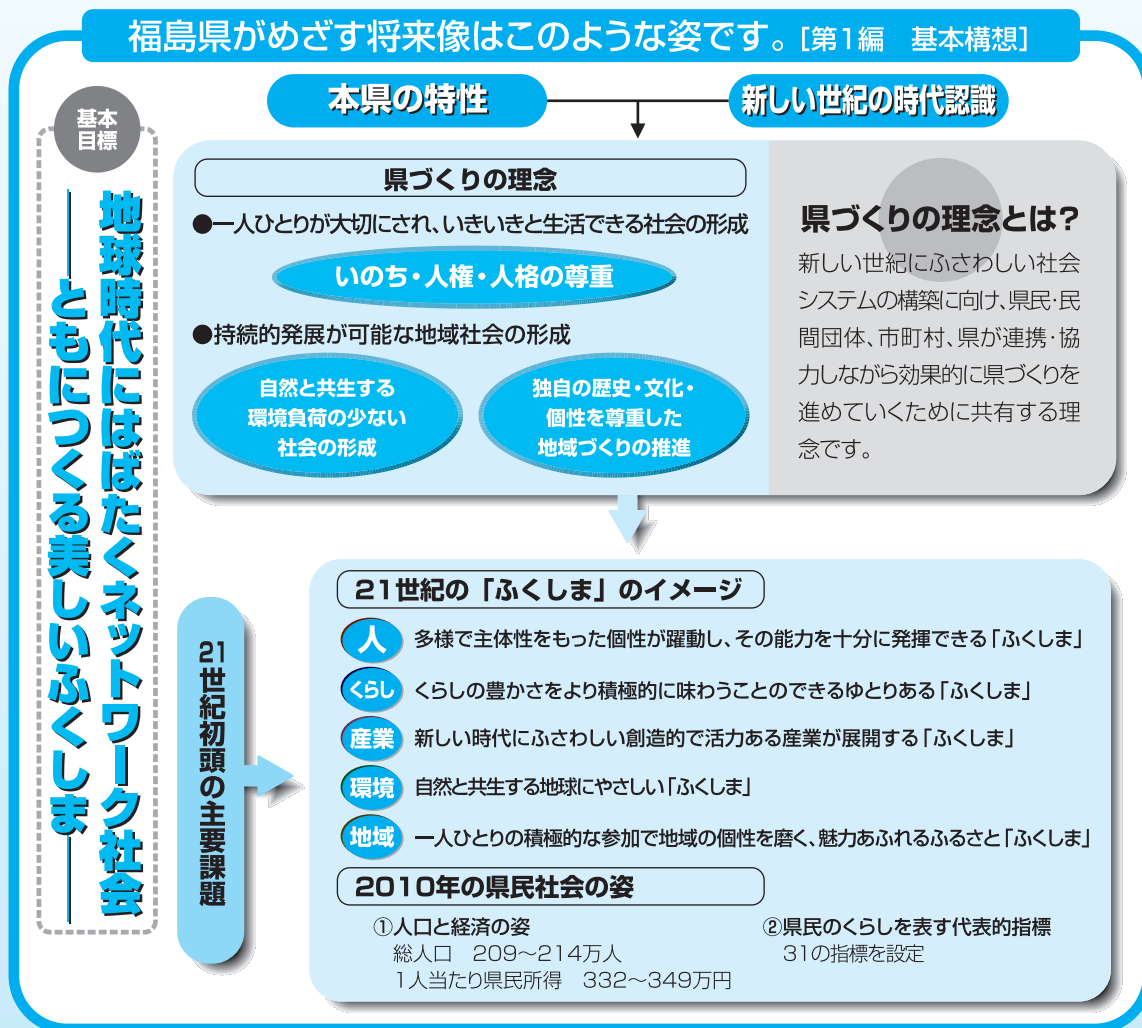


福島県新長期総合計画「うつくしま21」の構成

計画期間：平成13年度(2001年度)～平成22年度(2010年度)

福島県がめざす将来像はこのような姿です。[第1編 基本構想]



「うつくしま21」重点施策体系(2006～2010)の特徴

見直しの趣旨について

- 社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、6つの視点による点検を行い、これまでの重点施策体系を補強し再構築

体系について

- 「子育て支援など次代を拓く仕組みづくり」、「過疎・中山間地域対策」といった緊急課題への対応や、「安全で安心な社会の形成」を新たな柱として位置付け

指標について

- 指標の拡充

これまでの体系：61指標→見直し後：133指標（重複分を除く実質数：127指標）

- これまでの指標に加え、「シンボル指標」を新設し、本県の全国での順位も表示
- 県民の満足度を示す県民意識調査に基づく指標も、「シンボル指標」として新設
- 目標値の設定が困難または適当でないが、毎年その状況を把握し公表することが望ましいものを「モニタリング指標」として設定

県はこのような施策に取り組めます。[第2編 基本計画]

重点施策体系

『県づくりの理念』が示す新しい世紀の価値観（「いのち・人権・人格の尊重」や「自然との共生」など）を基調とする社会の実現に向け、県が重点的に取り組む施策を示しています。

基本施策体系

『21世紀の「ふくしま」のイメージ』に示された「人」「暮らし」「産業」「環境」を基本施策体系の柱とし、その将来イメージの実現をそれぞれの柱の目標としています。そして、「人」と「地域」を支えるものとして補項目に位置付けた「基盤」を含めた5つの柱に沿って、県の施策を総合的・体系的に示しています。

調和のとれた七つの生活圏づくりを進めます。[第3編 地域構想]

●地域づくりの基本目標●

一人ひとりの参加で個性を磨く、魅力あふれるふるさと「ふくしま」
—多極ネットワークの新たな展開—

地域別構想

相互連携による生活圏の展開戦略

広域連携

施策の推進方法について

- さまざまな主体の役割分担の明確化とその連携や、県民の視点に立った、本県独自の、部局横断の有機的連携による施策展開の重視

その他

- 参考資料として、各指標の目標値を単年度ごとにも設定
- 重点施策体系とは別に参考資料として、本県の状況を分かりやすく示すため、既存の統計資料による「分野別全国比較一覧」を掲載
- 地域懇談会、市町村への意見照会、パブリックコメントなどを通し、県民各層からの多様な意見を反映

重点施策体系見直しに関する意見：242件
(パブリックコメント時：220件 その後：22件)
上記意見を踏まえた修正：35件 (修正に対応した意見：49件)